

ABSTRACT

アトピー性皮膚炎患者の活性化した好酸球において発現に差の見られる遺伝子を、
ジーンチップを用いてディファレンシャルな発現比較解析を行った。その結果、活性
化した好酸球において、有意に発現が上昇している TR3 および TINUR 遺伝子を同定
することに成功した。本発明者らは、該遺伝子をアレルギー性疾患の検査、および治
療薬候補化合物のスクリーニングに使用できることを見出した。